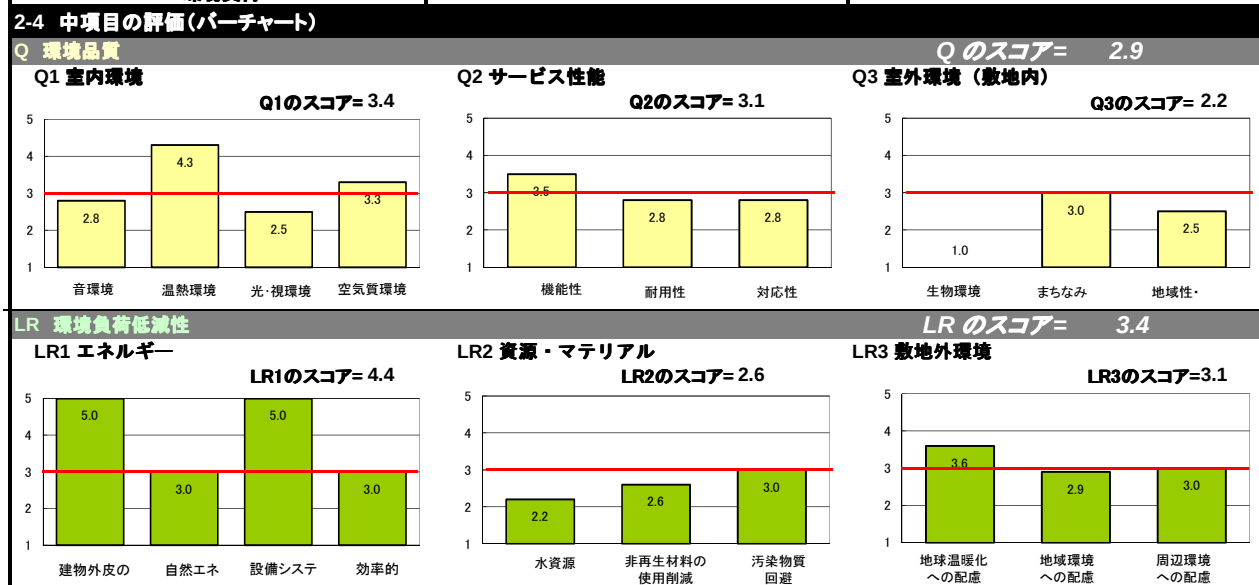
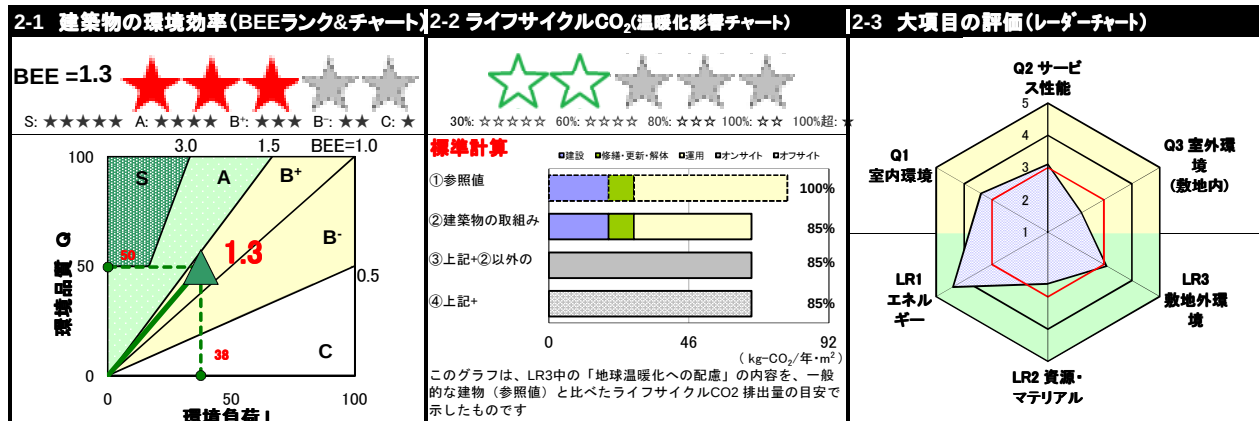


CASBEE®-建築(新築)

評価結果

■使用評価マニュアル: CASBEE-建築(新築)2016年版 | 使用評価ソフト: CASBEE-BD_NC_2016(v3.0)

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)姫路市東延末1丁目プロジェクト	階数	地上12F
建設地	兵庫県姫路市東延末1丁目29、30、31	構造	RC造
用途地域	商業地域、準防火地域	平均居住人員	138 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2026年1月 予定	評価の実施日	2024年7月10日
敷地面積	950 m ²	作成者	積水ハウス株式会社 森 聡伸
建築面積	493 m ²	確認日	
延床面積	4,440 m ²	確認者	



3 設計上の配慮事項		
総合 断熱等性能等級で等級5を満たし、付加価値を設けた。		その他 特に無し。
Q1 室内環境 F☆☆☆☆の建材を使用し、空気質環境へ配慮した。	Q2 サービス性能 光通信に対応し、通信速度1Gbpsクラスのブロードバンドを利用可能な環境に配慮した。	Q3 室外環境 (敷地内) 特に無し。
LR1 エネルギー 断熱等性能等級で等級5を取得予定であり、高い断熱性能のある建築材を採用し建物の熱負荷抑制に配慮した。	LR2 資源・マテリアル 特に無し。	LR3 敷地外環境 ライフサイクルCO ₂ 排出率を抑制し、地球温暖化への配慮を行った。

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)

■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)

■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生涯の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される